

## 新東名高速道路の自然環境の保全について(2018年10月12日)

中日本高速道路株式会社秦野工事事務所(神奈川県秦野市、所長・長浜 勲)は、2018年9月28日に、新東名高速道路自然環境検討会(委員長：亀山章 東京農工大学名誉教授)を開催しました。検討会では新東名高速道路の建設に際し、計画路線周辺の自然環境の状況を踏まえ、これまでに実施してきた調査・検討結果を報告し、今後の調査計画及び保全対策などに関して審議を行いました。

### 1. 検討内容

- ①猛禽類調査および保全対策検討
- ②重要植物の移植、動植物に対する保全対策

### 2. 猛禽類調査及び保全対策検討

1月～8月にかけて実施したオオタカ等の生息・繁殖状況調査結果について報告を行いました。また、今後の保全対策について審議いただきました。

### 3. 重要植物調査結果、動植物に対する保全対策

計画路線周辺の重要植物の移植・モニタリング結果について報告を行いました。また、動植物に対する保全対策について審議いただきました。

### 4. 検討会審議結果

猛禽類の保全対策検討における今後の調査対応・保全対策、および動植物に対する保全対策についてご意見を頂いて、了解を頂きました。

以上